

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成25年10月17日 (2013.10.17)

【公開番号】特開2011-58496(P2011-58496A)

【公開日】平成23年3月24日 (2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2010-200410(P2010-200410)

【国際特許分類】

F 0 2 C 7/20 (2006.01)

F 2 3 R 3/42 (2006.01)

F 2 3 R 3/60 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C 7/20 B

F 2 3 R 3/42 D

F 2 3 R 3/60

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月2日 (2013.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タービンエンジンの燃焼器 (1 0) に対してトランジションセグメント (1 6) を固定するための支持体 (2 4) であって、

インタロック継手 (5 6) によって互いに離脱可能に取付けられた一対のアーム (2 6 、 2 8) を含み、

前記一対のアーム (2 6 、 2 8) が、前記インタロック継手 (5 6) を形成した細長いセクション (5 4) を備え、

前記インタロック継手 (5 6) が、互いに対する前記アーム (2 6 、 2 8) の軸方向移動を固定すると同時に前記タービンエンジンの半径方向 (R) 及び円周方向 (C) に沿って該アーム (2 6 、 2 8) が移動できるようになっており、

前記アーム (2 6 、 2 8) が、前記トランジションセグメント (1 6) に連結された一対のフィンガで終端し、かつ前記タービンエンジンの軸方向 (A) に沿って該トランジションセグメント (1 6) が移動できるように構成される、支持体 (2 4) 。

【請求項 2】

前記インタロック継手 (5 6) がタング (6 2) 及びグループ (6 4) 継手を含み、請求項 1 に記載の支持体 (2 4) 。

【請求項 3】

前記インタロック継手 (5 6) が、前記細長いセクション (5 4) によって形成された 1 以上のスロットを含む、請求項 1 に記載の支持体 (2 4) 。

【請求項 4】

前記インタロック継手 (5 6) が鋸歯継手を含み、請求項 1 に記載の支持体 (2 4) 。

【請求項 5】

それに対して該支持体 (2 4) が取付けられた支持リング (5 8) をさらに含む、請求項 1 に記載の支持体 (2 4) 。

【請求項 6】

前記支持リング（５８）が少なくとも１つの切れ目によって分割される、請求項５に記載の支持体（２４）。

【請求項 7】

前記細長いセクション（５４）のインタロック継手（５６）が、前記支持リング（５８）の少なくとも１つの切れ目に隣接して配置される、請求項６に記載の支持体（２４）。

【請求項 8】

前記アーム（２６、２８）の各々が、前記軸方向（Ａ）に沿って配向された少なくとも１つのフィンガ（３０、３２）で終端する、請求項１に記載の支持体（２４）。

【請求項 9】

前記アーム（２６、２８）の各々が、該支持体（２４）に対して前記軸方向（Ａ）に沿って前記トランジションセグメント（１６）が移動できるように構成されている、請求項８に記載の支持体（２４）。